

Inabeな人々

GCI 連動企画

いなべで自らの暮らしを
生み出す人々を
紹介します。



松田^{じゅん}淳・まるみ夫婦 (パスタ家POPO)

その料理はどれも、体の中から
ほっとした気持ちになる。

員弁町で「パスタ家POPO」を
営む松田淳・まるみ夫婦。淳さんは
元プロスノーボーダー。アジアチャ
ンピオンとして世界の頂点を目指
し、夫婦でヨーロッパに滞在してい
た。そのとき訪れたイタリアで、飲
食店づくりを意識したそう。

イタリアでは、食事や休憩だけ
はなく、電話を借りるなど、ちょっ
とした用事があるときもカフェに行
く。「カフェにはコンビニにはない温
かさがあった。そんな場所をつくり
たいと思った」とまるみさんは話す。

店は家、お客さんは家族

料理のこだわりの一つは、畑をつ
くり材料から手掛けること。ただ、
時期によって、野菜がどうしても自
分たちの畑だけでは足りなくなる。

そんなとき、客が無農薬の野菜を
持つてきてくれる。まるみさんは「そ
れがPOPOのお客さん。お客さん
の支えがあって続けられた」と話す。

店を始めて18年。子どもたちが
小さかったころ、客が三岐鉄道北勢
線に乗せて遊びに連れて行ってくれ

たり、熱が出たときは預かってくれ
たりした。コロナ禍にあっても、多
くの人たちの支えを実感している。

「店は家。家にきたお客さんはみ
んな家族」が合言葉。ここでは誰も
が店や松田さん一家に、関わるのが
当たり前。そして、客はいつの間
に家族になる。POPOの料理とも
てなしに惹かれて。

訪れた人と食を楽しめる空間を

2人には新たな店づくりの構想が
ある。その場所は「この地域で助け
られてきたから、いなべしか考えら
れない」と淳さんは話す。

客が店の畑から野菜をとってきて
生地に並べ、ピザ窯で焼いたり果物
をもいでジュースをつくったりす
る。肉やソーセージを店のオープン
暖炉で客自身が焼く。自分の家の畑
や台所にいるようにくつろぎなが
ら、それぞれが食にじっくり向き合
うことができる時間を、2人は演出
しようとしている。

食を通してどんな世界が広がるか、
想像するだけでワクワクする。PO
POと松田さん一家に出会ったたく
さんの家族が、実現を待っている。

パスタ家POPO

員弁町楚原 868-6 ゼンパーク 1 階

TEL : 74-5750

【営業時間】

昼 11:00 ~ 14:00

夜 17:30 ~ 20:30

(金・土・日・祝日のみ。L.O20:00)

【定休日】火曜日

<https://www.pastayapopo.com/>

Instagram



facebook



1. もちもちの生パスタ。材料から手づくり 2. 手作業でむいたはっさく入り
ジェラートと自家製ハーブティー 3. POPO 畑 4. 店舗内観



生活情報
[まいめる]



携帯用
[モバイルガイド]

救急医療情報

■三重県救急医療情報センター ☎ 059-229-1199

■いなべ医師会(在宅当番医) 📞 <http://inabe-med.or.jp/>

■医療ネットみえ 📞 <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

人口情報(令和2年7月1日現在)

総人口: 45,576 (-31)

世帯: 18,730 (+10)

男: 23,361 (±0) 女: 22,215 (-31)

いなべ市情報誌 Link9月号(vol.201) 令和2年8月1日発行

発行/いなべ市 編集/企画部 広報秘書課 〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜 31

☎ 0594-86-7740 📠 0594-86-7857 📞 <https://www.city.inabe.mie.jp/>

